

奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会総会

平成29年3月23日

市町村会館7階会議室

平成29年3月23日、市町村会館7階会議室において、奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会総会が開催された。

開会にあたり、奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会の栗山忠昭会長（川上村長）が、挨拶を行った。



栗山会長

平成30年度から、国保制度発足以来の大改革により、県が国保の運営主体となり、市町村とともに国保の保険者機能を担うこととなる。

また、我々国保診療施設を取

り巻く環境は、経営の効率化や地域偏在による医師・看護師不足などにより、依然として厳しい状況が続いている。

このような環境の変化や厳しい状況においても、国保診療施設には、多様化するニーズに対応するため、在宅医療の推進、疾病予防、地域住民との円滑なコミュニケーションなど、これまで以上に大きな役割が求められている。

そのため、関係機関との連携をより一層密にしながら、国保診療施設としての力を発揮していきたいと、述べられた。

続いて、議事に入り、議案第

1号「任期満了に伴う役員選任（案）」について「が審議され、原案どおり承認された。その結果、会長に栗山忠昭川上村長、副会長に更谷慈禧十津川村長と窪田政倫山添村長が選任さ

れるなど、平成29年4月1日から任期2年の役員が決定した。

また、議案第2号「平成29年度事業計画（案）及び会計予算（案）」について「が審議され、原案どおり承認された。

